

平成 29 年度
第 2 回 東灘区地域包括支援センター運営協議会議事録

I 日 時 平成 30 年 1 月 16 日（火）午後 1 時 30 分～午後 2 時 45 分

II 場 所 東灘区役所 1 階 11 番会議室

III 議 題

- (1) 介護予防ケアマネジメント対象者が要介護状態となった場合の取り扱いについて
・指定居宅介護支援事業所の選定における確認書の受理状況
- (2) 平成 29 年度第 1 回神戸市地域包括支援センター運営協議会の報告
・あんしんすこやかセンター運営評価について
- (3) 平成 29 年度（4～9 月）あんしんすこやかセンターの運営状況について
・あんしんすこやかセンター実績報告

—以下 非公開—

- (4) 特定事業所へのサービス集中度について
- (5) 地域包括ケア充実のための事業目標について（進捗状況報告）

IV 当日出された主な意見・質問および事務局回答

- (委 員) センター職員は 4 名で頑張っているが、年々業務量が増えているので心配。
- (事務局) センターの業務量の増加に対しては、会議の整理など見直し・検討中と聞いている。
また個々の課題解決に向けての地域見守りのあり方なども見直され、政策としてもセンターの機能強化が挙がっており、市（介護保険課）も十分に認識をして業務の整理・負担軽減を検討している。
- (委 員) センターは居場所づくりなどいろいろと事業を行っているが、実際に住民（高齢者）の参加率はどうなのか。主催者側が期待するほど参加していないのではないかと。上手くいっていると言えるのかどうかは見えない。自分がその立場に立った時には参加するのだろうか？楽しめるだろうか？
- (委 員) 一般的には男性は地域とのつながりが少ない方も多いが、「出てくれば楽しいことがある」と感じてもらえるような、きっかけが必要。たとえば「童謡を歌う会」などアプローチの仕方に工夫が必要。参加の後押しをしてくれるような友達・知人の存在が大切。「おやじの会」なども参加者が多い。その様な会が地域にどんどん広がって行けばいいのではないかと。
- (事務局) 「居場所」が地域住民の方にとって、より近く参加しやすい環境になるようにと考える。東灘区健康福祉課では地域ケアネットで昨年度・今年度と「居場所づくり」をテーマにして展開している。年齢・障がいの有無を問わずに参加できるように、特に今年度は「みんなの居場所」について、今の居場所により参加しやすい「魅力」を加えて行けるように議論を行っている。
- (委 員) 東灘区は高齢者虐待が多いとのことだが、どのように解決していくのか。
- (事務局) 当区では、各センターが早い段階で通報受理しているため、問題が深刻化する前に対応できている場合も多い。ケースバイケースではあるが、認知症を有する高齢者と経済的に依存している養護者（息子や娘）の両方の支援が必要である。一時的に分離を行い、その後再統合できればよいが、児童虐待とは異なりそれまでの親子関係などが大きく影響し、ケースによって違いますが再統合できない場合も少なくない。